NO. 111
平成28年10月15日

わかたけ通信

〒853－0042
五島市吉田町3614－8
心身障害者支援団体　若竹の会
TEL／FAX75－0521

October

【福江ねぶた祭りに参加して】

恭佑は二十八才になりました。
会員歴二十八年で、ひよこねぶたは十八年の歴史でした。
病気と告知され「訓練しかない」と、どうしていいかわかない私に、小児科の先生のその言葉をポジティブに受けた私は早速リハビリに通いました。そこで良介くんのお母さんに若竹の会にお誘いを受け、ともだちいっぱいコンサート、サーマキャンプそして、会員みんなで希望の翼を表したひよこねぶたを製作し、福江ねぶたまつりに毎年参加してきました。お陰様で、みんなでをワイワイ歩くことで最後まで歩き通すことができてよいリハビリにもなり足も強くなりました。
今年のねぶた祭りは、一番に集合場所に着きみんなを待つ楽しみが伺えましたが、いざ沢山の会員とボランティアさんが集まると大勢の場が嫌いな恭佑は、車に閉じ込もり、みんなに心配かけましたが、一昨年から歩くのを嫌いがり車椅子で参加してるので、今年も用意しいてただいてなんとか参加することができました。
車椅子を押して下さる方、太鼓を叩いてくれる方、ひよこねぶたを引いてくれる方、たくさんの人に支えられとうとうひよこねぶたも最後を迎え、恭佑の小さい時から支えてきてくれた保健所の吉田課長さんに 恭佑くん がんばったネ」と言われ涙してしまいました。
最後に参加者全員でひよこねぶたと一緒に記念撮影して終えました。
参加していただいた皆様お疲れさまでした。
そして十八年間ボランティアで支えてくださった皆様に感謝申し上げます。

田尾　照美

【風船バレーの大会を見学して】

障害者スポーツを取材する中で出会った「風船バレー」というスポーツ。
競技名を初めて聞いたとき「風船」という言葉から、ふんわり、ゆったりとした競技なのだろうと想像していました。しかし会場へ行ってみてびっくり。ピンク色の巨大な風船があちこちで大きな音が立て、時おり激しくネットを揺らしています。空気抵抗によって予想できない動きをする風船。翻弄されながらも全身で巨大な物体を受け止める選手らの姿に、私は目が釘付けになりました。
激しいサーブの応酬に全員で繋ぐトス。
障害者も健常者も、車いすの人も杖をついた人も･･･全員が一つになってプレーする姿はとても眩しく輝いて見えました。たとえ失敗しても「どんまい！」「がんばれ！」と声をかけつづけるチームメイトの皆さん。試合終了と同時にこぼれる選手の笑顔からは、勝敗に関係なく「スポーツができる喜び」が溢れていたように思います。
障害がある人もない人も、コートの上ではみんなが同じ選手になって戦える。
風船バレーの大きな魅力を感じた一日になりました。

NHK　長崎放送局
宮原　雅子

ワークハウスわかたけ　ニュース

GOTOふれあいまつり

９月２４日ありました。

平田さん・上川さん・石田さんが参加しました。

ふうせんバレー練習日

１１月　２日，　９日，１６日，３０日の４回です。

福江総合福祉保健センターの４Fでしています。

毎週水曜日１８：００～２０：００までしています。

みんなで楽しくやりましょう。イルカ号での送迎もしています。

予選で１勝２敗　エコノミークラス　準決勝進出

スペシャルオリンピックス（SO）

第１８回　坂の上陸上公園

１０月１６日（日）　時間は９：００～１１：００まで

１１月　６日（日）　長崎大会が佐世保であります。

若竹の会　報告

１０月１日の最後のねぶた祭り、みなさんお疲れ様でした。

２０年間の思い出を力一精「ラッセィラー」の音頭にのせて楽しい一時でした。名簿上では５３名の参加でした。

翌１０月２日の午前中に会長夫婦、清水さん親子、川元ファミリー種村さん、保健所の古川さん、サポートセンターゆうなぎのみんなさんの協力でねぶた解体も無事終了しました。

ちょっと涙が出てきました。ひよこねぶたの頭は記念にワークハウスに置いてあります。

残骸はワークハウスで処理していただきました。心身障がい者支援団体としては後１７０日を切りました。１２月には和い輪いまつりもあります。会員の交流をもっと深めていきましょう。

わかたけ通信編集：ワークハウスわかたけ（担当：畑中良介，村田邦和）

毎月１５日に発信します。

みなさんからの投稿も待っていますのでご連絡ください。